

●テーマセッション(80 分)

「競争力を高めるインフォメーション・コミュニケーション・テクノロジーの組織的活用法を探る」

◎村瀬俊朗 (早稲田大学 商学部 / イノベーション研究所)

江夏幾多郎 (名古屋大学 経済学部 / 経済学研究科)

大沼沙樹 (早稲田大学大学院 商学研究科)

研究成果報告形式

[概要]

インフォメーション・コミュニケーション・テクノロジー (ICT) は、情報伝達を効果的にすることで、組織の競争力向上に寄与すると考えられている。しかし、ICT 導入を試みたすべての企業が必ずしもこの効果を感じるわけではない。そして、ビジネスチャットツールにおける情報共有は会話の手軽さや連続性を向上させたが、会話参加者がどの話題に注意を払っているか、また彼らの反応が分かりづらいため、ICT は負の側面を併せ持つことも研究からわかってきた。

本セッションでは、どのようなマネージャーや職場の行動が ICT 活用をより機能的にさせるかを議論する。特に、ICT 導入の有益情報獲得に対する負の側面も考慮し、職場行動は ICT の正の側面を促進するのみでは不十分と議論し、負の側面の抑制メカニズムについてもアンケート調査から検討する。加えて、効果的なマネージャーと部下のコミュニケーション構造を、チャットのアーカイブデータを用いて検証する。最後に、ICT のチャットなどのアーカイブデータを、今後どのように組織行動・HRM 研究に活かすかを合わせて考察することで、この領域における新たな理論検証や方法論についての議論も活性化させたいと考えている。

[参加者へのメッセージ]

10 月 20 日(日) 11:00~12:20 開催(D 会場:1-304)

本セッションでは二本の実証研究から、組織力向上のためのビジネスチャット運用方法を議論します。第一の発表は、ビジネスチャット導入は流動的情報共有のみを可能とするのではなく、情報過多の発生にも着目し、効果的ビジネスチャットの運営を検討します。第二の発表は、28 事業所のビジネスチャット・データをもとに、メンバーの業績を促進させるマネージャーとメンバーのコミュニケーション構造の分析結果の報告です。そして、企業はどのように ICT を活用することで、創造性と競争力を向上させられるかを議論したいと考えております。パネルに加え、参加者とのディスカッションにより、活発な議論の展開を期待します。是非ご参加ください。